

## 役割語研究の最前線

京都国際文化協会では内外の研究者や芸術家をお招きし、専門に関わる分野や異文化間交流についてご講演いただいています。

今回は、大阪大学から金水 敏先生をお迎えして、役割語研究の動向について伺います。

役割語とは、マンガ・アニメなどフィクションの中で老人が出てくると「そうじゃよ、わしが知っておるのじゃよ」と言ったり、お嬢様が出てくると「そうですわよ、私が存じておりますわ」と言ったりするなどの例に典型的に見られる、特定の人物像と結びついた話し方のことを指します。

近年、海外の若者には日本のマンガ・アニメを通じて日本語に興味を覚える人が多く、役割語にも強い関心を持つ人が出て来ています。そういう意味で、役割語の知識を日本語教育や国際交流に生かす機会も増えていくことでしょう。

今回の講演では役割語を通じて見た日本語の特徴や、役割語研究の最新成果、また各方面での研究の応用、影響等についてお話くださいます。

ご参加をお待ちしています。

### 記

講師：金水 敏（大阪大学大学院 文学研究科教授）

テーマ：役割語研究の最前線

日時：2015年3月29日（日）14：00～16：00（受付開始：13：30～）

場所：京都市国際交流会館3F 研修室

参加費：1,000円（当協会会員無料）

定員：40人

主催：（一財）京都国際文化協会

後援：京都府

協力：（株）凡人社、（株）スリーエーネットワーク

お申込み・お問合せ：京都国際文化協会

（606-8536 京都市左京区粟田口烏居町2-1 京都市国際交流会館3F）

TEL：075-751-8958 FAX：075-751-9006 E-mail：kica@kicainc.jp

URL：http://kicainc.jp/ （事務局が留守の時は、メッセージをお残しく下さい。）